

6月号

## 人との関わり

校長 桐ヶ谷 淳子

# 学校 だより



大和市立草柳小学校  
大和中央3-6-1

5月は例年よりも暑い日が続き、そろそろ本格的に熱中症が心配されるようになりました。10日と24日には定例の朝会がありました。昨年は音声やテレビの放送で行いましたが、何とか全校が一堂に会する場面を、少しでも多く作りたいたいの思いから、5月の朝会は校庭で実施しました。1年生から6年生までの子どもたちを前にすると、体の大きさはもとより、その顔つきや振る舞いにも学年の差が見て取れました。あらためて小学校の6年間は子どもたちが大きく成長する大切な時間なのだと実感しました。低学年の児童の目には5年生や6年生はしっかりしたお兄さん、お姉さんとして映り、下級生や全職員から見られることで、高学年には自覚や責任が芽生えてくるのだろうと思います。



(青空の下での朝会 5/10)

また、25日に実施した新体力テストでは、1、2年生をサポートし、教室まで送り届ける5、6年生の頼もしい姿が見られ、さすが上級生と感心しました。今年は「なかよし学級」もコロナの感染対策を講じながら、工夫して行う予定です。異学年交流を通して、子どもたちの心に思いやりや責任感が育っていくことを期待しています。

「同心団結」～友と一緒に駆け抜けろ～

じぶんも ともだちも かがやかせよう

・ともだちのよさをみつけ おもいあおう

・しっかりきいて かんがえ

さいごまでやりぬこう

・よくたべ げん気に あそぼう

上は6年生の、下は2年生の学年テーマです。「同心団結」は心をつつにして協力し合うという意味で、「同心協力」と「一致団結」を合わせた子どもたちの造語とのことです。サブテーマには「6年という道を友だちと一緒に駆け抜け、全員が団結していけるように」という思いが込められているそうです。

2年生の学年テーマ「じぶんもともだちも」「かがやかせよう」は、自分一人ではなく、互いに良いところを伸ばし合いながら、一緒に輝いていこうという意味だと思います。

この二つの学年テーマの共通点は「友」です。子どもたちにとって、友だちがいかに大切であるかがよくわかります。著名な方の対談や著書の中で「人は人との関わりの中で成長する」という意味の言葉を見かけることがありますが、学校という集団生活の場で、子どもたちは友だちと仲良くしたり、時には反発し合ったりしながら、人との関わり方を学び成長します。私たちおとなは、そんな子どもたちの様子を見守り、支える存在でありたいと思います。